

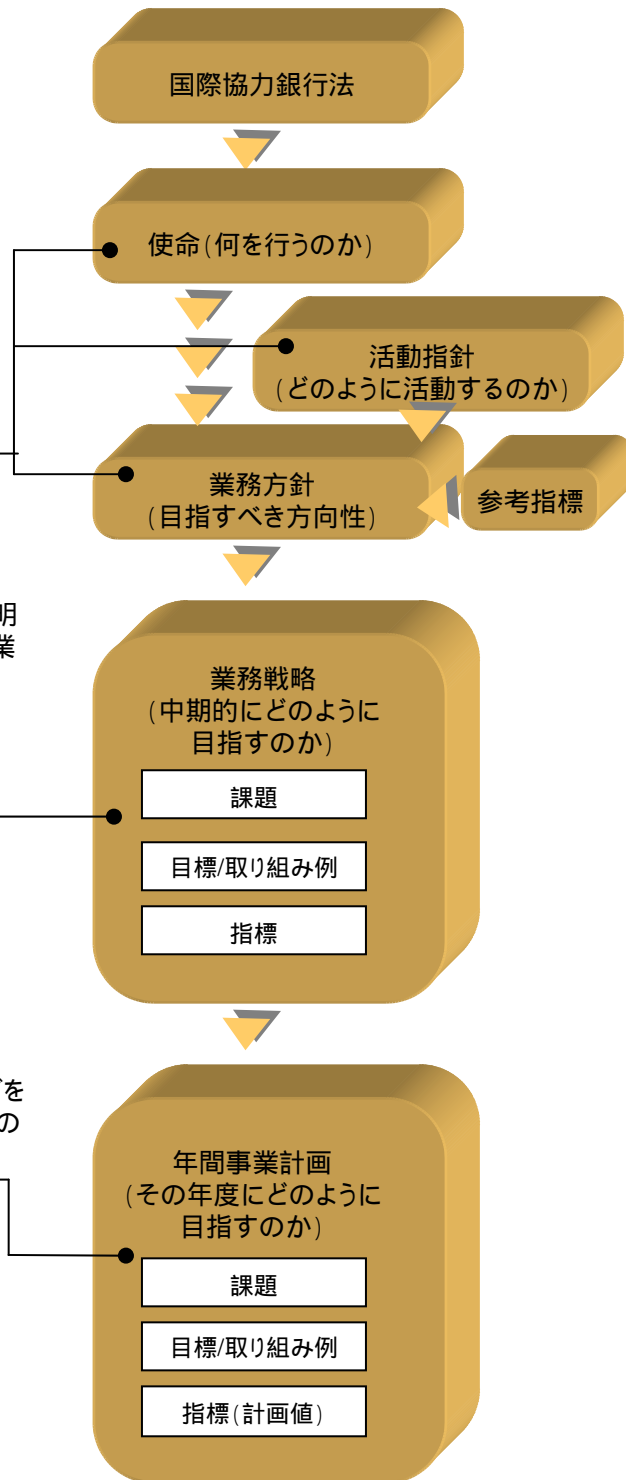
2. 業務運営評価制度の枠組み

業務運営評価制度の枠組みは次のとおり。
 (本制度の導入の背景、目的、枠組み等の詳細は
 本行ホームページ参照)

- (1) 国際協力銀行法に基づく「使命」の下での業務運営の方針を「業務方針」として策定。
- (2) また、公的業務を行う法人として、その価値を最大限に発揮する上で「どのように活動するか」を明確にした「活動指針」を策定。

- (3) 「業務方針」に沿った業務の着実な実施と業務運営の透明性確保のため、課題、目標/取り組み例、指標を示した「業務戦略」を作成。
- (4) 「業務戦略」は、全行的な事業・財務・組織能力に関する「基本業務戦略」及び6つの事業分野毎の活動に関する「分野別業務戦略」とで構成。

- (5) 「業務戦略」を各年度の活動として具体化するため「年間事業計画」を作成。
- (6) 「年間事業計画」の定期的・継続的な評価・モニタリングを通じた業務改善の推進と、必要に応じ「業務戦略」自体の再検討を実施。



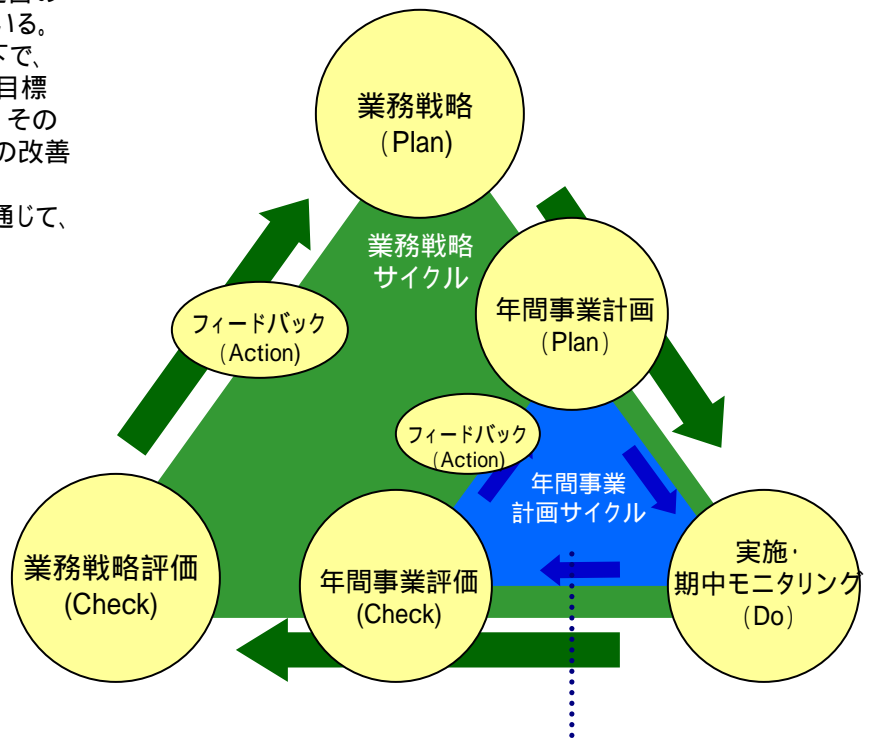
「業務戦略」及び「年間事業計画」は以下の分野から構成されている。

【基本業務戦略(基本業務分野)】	【6つの分野別業務戦略(事業分野)】
<ul style="list-style-type: none"> ・事業に関する課題 ・財務に関する課題 ・組織能力に関する課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際金融秩序安定への貢献 ・開発途上国の経済社会開発支援 ・我が国の資源の安定確保 ・我が国の資本・技術集約型輸出の支援 ・我が国産業の国際的事業展開の支援 ・開発途上国の地球規模問題への対応支援

3. 業務運営のサイクル

本行は業務運営評価制度を業務運営のマネジメント・サイクルに組み込んでいる。具体的には、業務運営評価制度の下で、自ら目標設定(企画立案[Plan])し、目標達成に向け業務を行い(実施[Do])、その結果を評価し(評価[Check])、業務の改善及び目標の見直し等(フィードバック[Action])を行う「PDCAサイクル」を通じて、業務運営の自律的な改善を図る。

「PDCAサイクル」は、右図のように、中期的な業務戦略レベルのサイクルと、年度毎の年間事業計画レベルのサイクルの双方から成り、Planの段階では「業務戦略」、「年間事業計画」を策定・公表し、Checkの段階では「業務戦略評価」、「年間事業評価」を作成・公表する。



「年間事業計画」のサイクル

本「平成15年度年間事業評価書」は、「業務戦略」(平成14年3月策定)に基づく業務のうち、平成15年度の「年間事業計画」における取り組みの評価を取りまとめたものである。